

活用ナビ

①【ねらい】米づくりが始まって、人々の暮らしがどのように変わったか考える。

- ② ● 何年前のどこの想像図でしょうか。
- 人々は何をしているのでしょうか。

- ③ ● 想像図で人々がしていることをくわしく読み取りましょう。
- ※例をもとに指示をする。
- できる人は、していることに「わかることや思ったこと」も書き加えてみましょう。
- ※自分なりの解釈を加えさせたい。

- ③ ● 発表しましょう。
- ※どこの部分からわかるのか付け加えさせる。拡大投影した部分を指しながら発表させると聞き手に伝わりやすい。

- ④ ● 米づくりが始まってから人々の暮らしはどのように変わってきたといえるか、他の資料からも考えましょう。
- ※P81の資料からわかった場合には資料名も発表させたい。

- ⑤ ● まとめを「米づくりが始まると人々は・・・」の書き出しでノートに書きましょう。思ったことも書きましょう。

6年-4

2-1 国づくりへの歩み
米づくりが始まる

P80~P81

名前

6年 組 番

①【ねらい】米づくりが始まって、人々の暮らしがどのように変わったか考える。

②【基本】教科書の図を見て考えよう。

- ・何年前のどこの想像図だろうか。
- ・人々は何をしているのだろうか。

1800年前の登呂（静岡県）

米作り

③【ポイント】人々がしていることをくわしく読み取ろう。

(例)「種をまいている人がいる」「木の柵(さく)を作っている人がいる」

- ・多くの人が一緒に米作りをしている。協力していることがわかる。
- ・くわやすきといった道具を使っている。
- ・げたのようなもので田を耕している。そのまま種をまいて、今の米作りと違う。
- ・田植えを教えている人がいる。地位の高い人かもしれない。
- ・家の周りでは道具を作っている人がいる。助け合っている。
- ・縄文時代とは生活の様子が違っている。
- ・家も縄文時代とは違って、じょうぶそうだ。
- ・倉庫のようなものも見える。米を保存したのではないか。

④米づくりが始まってから人々の暮らしはどのように変わってきたといえるだろうか。教科書の他の資料からも考えよう。

- ・人々が集まって住み、協力して作業をするようになった。
- ・米作りのための道具や弥生土器も作られるようになった。
- ・食料の保存ができるようになり、食生活や縄文時代より豊かになった。

⑤ノートにまとめよう。(以下の書き出しでまとめよう。)

- ・米づくりが始まると、人々は… **集まって住み、協力して作業をするようになった。**
- ・思ったことは… **さまざまな道具も作られ、米の保存もできるようになった。**

©社会科資料読解ワークシート開発プロジェクト（東北学院大学 佐藤正寿，教育出版株式会社，株式会社教育同人社）2020

資料の読解

この想像図は、弥生時代の人々の米づくりの様子を表したものである。縄文時代の想像図と比較することで、狩猟中心とした暮らしから稲作中心とした暮らしへの移り変わりがわかる図である。

この想像図には、水田を耕し、種をまいて米づくりをする人々の様子が描かれている。また、指示する指導者の存在や丈夫そうな住居、高床式の倉庫等、縄文時代との違いがうかがえる。人々は、集団で定住をして暮らし、協力して作業をしていたということがわかる図である。

読解の方法

- (1) 最初に人々が何をしているかワークシートに記入するように指示をする。「気づいたことを書きましょう」と指示をしても、何を書いたらよいか迷う子どももいると思われる。その点、「～している」という形であれば書きやすい。その際、ワークシートにある例を参考にさせる。
- (2) そのうえで、「わかることや思ったことを書き加えましょう」と指示する。そうすることによって、「倉庫のようなものがある。米を保存したのだと思う。」というような、子どもなりの解釈が可能となる。ただし、学級の実態によっては「書くことができる人は」という条件にしても構わない。
- (3) 書いた内容は発表させ、情報を共有化する。ここでは、米づくりが始まってからの暮らしの変化が大切になってくるので、その視点での発問や「縄文時代の想像図との違いはどこでしょうか」というような既習の資料との比較により、読解を深めるようにする。